



平成 25 年 8 月 27 日

各位

会 社 名 アンジェス MG 株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2641

子宮頸部前がん病変治療ワクチン（CIN 治療ワクチン）のプロジェクトが
厚生労働科学研究費補助金の医療技術実用化総合研究事業に採択

当社と子宮頸部前がん治療ワクチン（CIN 治療ワクチン）の共同研究を行っている東京大学産婦人科学川名敬准教授が、厚生労働省の平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金の医療技術実用化総合研究事業において、研究開発課題名「子宮頸癌に対する粘膜免疫を介したヒトパピローマウイルス(HPV)分子標的免疫療法の臨床応用に関する研究」の採択をうけましたのでお知らせいたします。本研究は、当社との産学連携を含む研究です。

厚生労働科学研究費の対象となる事業は、行政政策研究、厚生科学基盤研究、疾病・障害対策研究、健康安全確保総合研究及び健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクトの 5 分野から構成されています。外部の専門家の意見や行政上の必要性等を踏まえ、研究事業毎に、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等の課題を解決する「目的志向型の研究課題設定」を行い、その上で、原則として公募により研究課題及び研究班を募集し、評価委員会の評価を経て、採択が決定されるものです。

CIN 治療ワクチンは、HPV の E7 など特定な蛋白質に対する特異的な細胞性免疫を子宮頸部へ効率的に誘導することで子宮頸部の高度異型性を消失させ、子宮頸がんへの移行を回避できる画期的な世界初の経口治療ワクチンです。現在、東京大学医学部産科婦人科学川名敬准教授の下で探索的臨床試験が実施されており、良好な結果が得られております。子宮頸がんの前がん病変から上皮がんに移行する年代のピークは 30 歳前後で、結婚や出産を経験する年代に相当します。現在、前がん状態を治療する薬剤がなく、主な治療方法として子宮頸部円錐切除術が実施されておりますが、手術による早産、低出生体重、帝王切開のリスクが高まることが指摘されていることから、この手術の回避が可能になる本治療ワクチンの早期実現が期待されます。

本件による本年度業績への影響はありません。本プロジェクトによる来期以降の影響につきましては今後精査してまいります。

以上